

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	い〜まCrea原		
○保護者評価実施期間	令和7年1月16日		～ 令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和7年1月16日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが学びに意欲的になれるよう、支援プログラムの充実化を図っています。	文字の読み書きや数の学習などでプリント教材を使うことが多くありましたが、子どもたちが楽しく学べるようにプリント以外の教材を使用するなど、支援方法を工夫しながら行っています。	学校などの教育現場でもICTが活用されるようになりまし た。放課後等デイサービスの支援現場でも取り入れ、より子 どもたちが楽しく学べるような支援プログラムを考えていき ます。
2	職員の育成に力を入れ、サービスの改善や支援の質の向上に努めています。	年間を通して、たくさんの社内研修を実施したり、放課後等 デイサービス事業所の職員同士で定期的な会議を行い、支援内容 などについて話し合いを行い、常にサービス内容の見直しを行っ ています。	社内だけではなく、外部の情報も積極的に収集し、自事業所 の支援に取り入れるなど、更なる改善に努めています。
3	常に丁寧な対応を心掛けています。また何事にも真摯に向き合 い、子どもたちや保護者様との信頼関係を大事にしています。	子どもたちに常に寄り添う姿勢を忘れず、子どもたちが安心して 過ごすための環境づくりを意識しています。それぞれが抱え ている不安や悩みを一緒に解決していけるよう努めています。	子どもたちの生活面・精神面のサポートだけではなく、安全 面においても防犯対策などを徹底し、本当の意味で安心して 過ごせる環境づくりを目指していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	指導環境の改善・工夫	一戸建ての住宅を借りて支援をしているため、運動ができるよ うな広いスペースがなく、子どもたちも体力を持て余してしま うことがあります。	気候が安定している時期や利用時間が長い日は、外出する機 会を設けるなどして、子どもたちが発散できる機会をつくっ ていきます。
2	事業所の情報発信	普段の子どもたちの様子や支援の内容を口頭で説明する機会 はありますが、実際に見ていただくことができていません。	Instagramやホームページなどを通して、事業所の活動 をお伝えできるよう努めていきます。
3	地域交流の機会の提供	現在は人出の問題などもあり、放課後児童クラブや児童館との 交流などを行うことができていません。	今後は、児童館に行って活動するなど地域交流の機会を設け られるように努めていきます。